

# 行政の責任を果たすべき

## 中林議員が代表質問

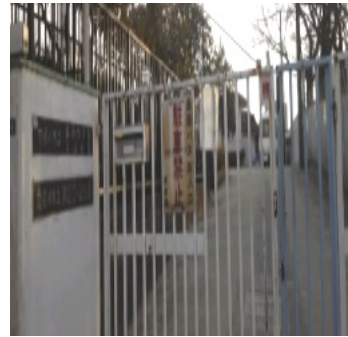


### あかつきひばり園は 公設公営で療育水準の向上を

3月議会、8日、日本共産党を代表して中林議員が党派代表質問を行いました。

あかつき・ひばり園については、市長の14年度から指定管理者制度の導入を検討するとの方針を受けて質問をしました。

あかつき・ひばり園は、肢体不自由児、知的障害児など、就学前の障害児の通園施設で



指定管理が検討されている  
あかつき・ひばり園

員、作業療法士、福祉相談員、看護師、養育士、歯科衛生士などの専門職員を配置し、通園することなく、寝屋川

あり、療育・生活指導をおこなっています。また、歯科診療所、療育相談室を設置し、発達相談や栄養指導、保健指導、療育相談などを実施しています。公設公営の施設として、開設され40年、全国的にもすぐれた施設として評価されてきました。とくに、理学療法士、言語聴覚士、発達相談

全体のこどもの発達のための、相談や支援の活動のネットワークの

### 行政が責任はたしてこそ センター的役割可能に

中林議員はやはり行政が責任を持つ公立公営の施設でこそセンター的役割を果たせることをふまえるべきであると主張しました。

あかつき・ひばり園の保護者などから要望書(全文は党議員団ホームページに掲載)が届けられ、その中で「関係者一同ただただ驚いています」「寝屋川市の障害者施策の根幹を揺るがす大変な事態である」とかんじています。

とされています。市は保護者に「まだ決まっ

中で重要な役割を果たしてきました。中林議員は、初めに指定管理者制度導入ありきの姿勢をきびしく批判しました。



### 国保・介護・上下水道料など 市民負担の軽減を進めよ

中林議員は市民生活を守るために国保・介護・上下水道料金の引き下げを求めました。

市長は国保料については適正に賦課をしていると答弁をするだけで、保険料の引き下げは答えませんでした。

また、介護保険料の引き下げについては昨年自らの選挙公約に反して保険料の引き上げを行い謝罪までした経

過があるのにもかかわらず、13年度の引き下げは考えていませんと言いつつ切りました。

また、下水道料金についても公営企業会計は独立採算が基本と一般会計からの繰入による引き下げを拒否しました。水道料金は、大阪水道企業事業団が水道料金の引き下げを行うのにもかかわらず、管路の改修等にその部

分を使うとして引き下げを否定しました。市民生活を考えていない寝屋川市の姿勢は大問題です。



発行  
日本共産党  
寝屋川市会議員団  
824-1181(内線2399)  
FAX 824-7760  
Email:jcpncc@cc-net.or.jp  
No.2451

太田 とおる  
高柳2-49-2  
826-1664  
田中 ひさ子  
国松町10-36  
823-1714  
中林 かずえ  
宝町4-33  
839-2289  
中谷 光夫  
高宮2-19-5  
823-5947  
松尾 信次  
下木田町12-6  
821-7427



来年度予算では、昨年8月の大雨を受けて、家庭用雨水タンク設置の補助金や止水板の設置補助金の新設。また、防災対策として高齢者住

# 廃プラ公害解消へ 中林議員が住民の健康調査を求める

## 公害等調整委員会での 住民・医師の証言・審問を紹介

中林議員は廃プラ問題について質問をしました。

中林議員は最初に2月に行われた公害等調整委員会の審問で明らかにした、健康被害の実態と真鍋穰医師の証言を紹介しました。

Aさんは、イコー社から1km以内に住む専業主婦です。06年頃から異臭を感じ、顔面のかゆみ唇がピリピリする、等の症状がでて10年に化学物質過敏症自律神経失調症、中枢神経機能障害が異



4市廃プラリサイクル施設  
がざぐるま

に診察の協力を依頼して、専門的な診断を追加したと。そして、宮田医師の診断をうけた1人全員が、中枢神経機能

常との診断をうけました。自宅から離れると症状が軽くなります。

真鍋医師は、廃プラからの健康被害に直接関わりがないと考えられる患者について、区別して診断したこと、「廃プラ施設から離れると症状がなくなったり軽減されること」などについて診断基準を明確に話されました。また、医学的診察がさらに必要だという見地から、化学物質過敏症の権威である宮田幹夫医師

障害や自律神経失調症と診断されています。

### 焼却ならキロ10円 現在はキロ24円

次に、中林市議は焼却とリサイクル処理の経費比較について質問しました。

市長は寝屋川では焼却の場合1キロあたり10円、現在は24円かかっていると答えました。

中林議員は処理コストが高い上に、健康被害、環境被害にまで及んでいることから、「その他プラ」

調査の実施をもとめました。

市長は、廃プラ施設から健康を害する物質は出ていないと健康調査を拒否しました。



## 災害対策の強化へ 一部前進面も

宅などの家具転倒防止器具の取り付けの補助の新設が盛り込まれました。この間の一般質問や市民の要望を受けての施策の実現です。

中林議員は当面のとりくみについて、公共施設と住宅の耐震化をおもいきって推進することが住宅の倒壊を防ぎ市民の命を守ることにつながると具体化を求めました。

市長は計画的に進めていると答えるにとどまりました。

また、中林議員は安全安心のまちづくり基金について、住宅・公共施設の耐震化の前倒しや、浸水対策等に用途を限定し、少しでも早く活用することを求めました。

市長は基金については1年間期間を延長して活用すると答えました。

### 議員誌



### 太田とおる

3月10日、「さよなら原発 3・10関西2万人行動」に参加しました。当日は、大変強い風と雨でした。しかし、会場となった中之島は多くの団体のほりがはためき、多くの人のプラカードで熱気が溢れていました。

会場で歯科保険医協会の「原発ゼロ、虫歯ゼロ」の歯ブラシが配られているなど様々な形で原発ゼロが訴えられていました。

東日本大震災から2年、いまだ生活再建の

めどがたつたとは言えない状況です。そして福島第一原子力発電所の事故は全く収束の目処がたつていません。残念ながら今の自公政権の下で原発の再稼働が、新たな基準による「新安全神話」が作られようとしています。今、私たちが原発はいらないと声を上げることが本当に大事であると感じました。寝屋川でも宣伝や募金に取り組みたいと思います。ご協力をお願いします。